



NOAH NEWS

2023年1月号

担当者 垣迫



新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

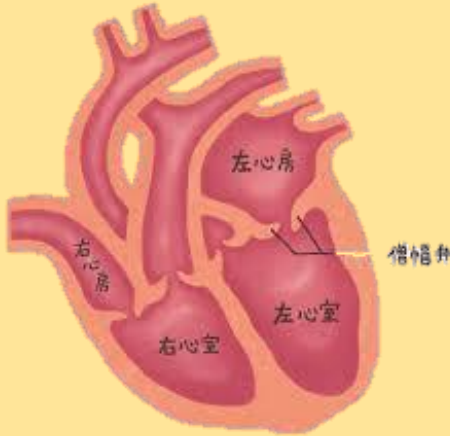
今月はシニアの小型犬に多くみられる疾患の1つである僧帽弁閉鎖不全症についてお話しします。
大事な臓器「心臓」について端的にお話ししますのでこれを見て少しでも参考にして頂ければと思います。



僧帽弁閉鎖不全症とは

心臓には四つの部屋があります。右と左それぞれに弁があり血液の流れが逆流しないように閉じたり開いたりしています。(右側には三尖(さんせん)弁(べん)、左側には僧帽弁)

症状について



この弁が年齢とともに硬くなったり何らかの原因で弁がきちんと閉じなくなることで血液の逆流が起き、心臓が大きくなり(心肥大)肺に水が溜まったり(肺水腫)、組織の周りに血液が溜まったり(うっ血)、様々な障害がでてくる病気です。

初期の段階では症状はなく普通に過ごしているため見た目にはわからないと思います。

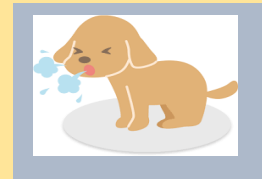
進行していくと咳がでてきたり、さらに重度になると呼吸困難におちいたり症状がでてきます。

予防法について

この病気に気づくには、1年に1度の健診や診察時に聴診器で胸の音を聴いてもらう事が大事です。

獣医師から雑音があります。と言われたらこの病気の可能性があります。軽度から重度と段階があるので獣医師と相談をしながら飼い主さんが出来ることを話し合ってください。

飼い主様がお自宅で出来ること



この病気は心臓にできるだけ負担をかけないことが大事です。

運動制限… 散歩の制限、興奮をできるだけ少ない環境にしていく事
極端な暑さ、寒さなどのストレスを避ける

塩分の制限… 食事は塩分を制限し、バランスのとれた食事を与えて下さい。
食事の塩分を減らすことによって体に溜まる水分を減らし心臓の負担を軽くします。また肥満の予防も心臓に負担をかけないという意味でも大事です。

薬 … その時の状況にあったお薬によってできるだけ病気の進行を遅らせ、心臓に負担をかけないように続けていくこと